

【県指定・天然記念物】

サキシマヌマエビ

(令和3年4月23日指定)



- 所在地 地域定めず

- 特徴

サキシマヌマエビは、体長 20~30mm で、県内では喜界島、沖永良部島及び与論島で生息が確認されています。

主な生息場所は、泉や湧水池などで、洞窟内にも生息しています。限定された場所に生息していることから、エビ類の進化や種分化を研究する上でとても重要です。

また、鹿児島県が分布の北限であることから、喜界島のサキシマヌマエビは地理的な分布を考える上でも貴重なものです。

なお、平成18年11月17日には、鹿児島県指定希少野生動植物にも指定されています。